KENRYO NOW

第2回 長野県高校生会議について

第2回長野県高校生会議2020 実行委員長
3年 木村 珠星

「長期休暇の宿題はどうあるべき？」

僕は、以前から長野県の高校の長期休暇の短さ、過ごし方について課題意識を持っていました。２０１９年２月にこの問題について議論するため、高校生が主体となり県内から高校生が集まって「長野県高校生会議２０１９」が開かれました。僕もその実行委員の一人として会議の運営に関わりました。

会議では夏休みの日数も大切だけど、いかに中身を充実させるかがより重要なのでは、という結論に至りました。

この結論を受け僕は現在、探究の授業の中で「長期休暇における課題（宿題）と過ごし方」をテーマにして研究を進めています。

研究を進めていく中で同じ長野県内の高校生の意見も聞きたいと思い、２０２０年１月25日に今年は僕が実行委員長として「第２回長野県高校生会議２０２０」を開催しました。

縣陵で行われた会議は、長野県内の高校生16校50人（実行委員含む）と長野県教育委員会や縣陵ＯＢ・ＯＧの方など９人のゲストアドバイザーと共に開催しました。

午前中はグループに分かれて個人の意見を共有し、午後はグループごとにプレゼンテーション大会をしました。各グループからは「宿題を減らして課外活動を宿題としてほしい」や「宿題の内容を自分で考えて、先生たちは最低ページ数のみを指定する」といったアイデアが出されました。ゲストアドバイザーの方を中心に大人の立場から質問やアドバイスをしていただきました。

これらのアイデアは出すだけでなく実行に移すことが最も大切なことだと考えているので、先生たちとの話し合いを深めながらどのような形が自分達にとって１番の力になるかを今後も考えていきたいと思います。

最後になりましたが、この会議は縣陵の学びを支援する会の浅井さんをはじめたくさんの縣陵ＯＢ・ＯＧの方々のご支援により開催できました。この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

新春書道パフォーマンス

3年　百瀬 まゆ

私たち書道部は、今年の1月3日イオンモール松本にて新春書道パフォーマンスをやらせていただきました。

書道部では、展覧会に出品する作品づくりに加え校内外でのパフォーマンス活動を行っています。昨年度は高齢者施設や児童センターで交流を行ってきました。

今年度も、地元での活動の場を広げ書道を通した交流をしていきたい、という思いがあったので、お正月という大切な日に機会をいただいたことを嬉しく思い準備を進めました。テーマは「新たなスタートや挑戦をする一人一人への応援」と決めました。新年の始まりを感じられるもの、さらに新元号の令和のもと進化し続けるこの国で生きていく私たち一人一人への応援の意味を込めたもの、をコンセプトにしました。

本番前には国内研修や考査という大きな行事もあり練習時間が限られましたが、休日や毎日夜遅くまで練習をしました。顧問の武居先生のご指導を受け、1、2年生全員で話し合うこともありましたが、そのおかげで、見に来てくださるお客さんに参加していただける新しい試みにも挑戦できたと思います。

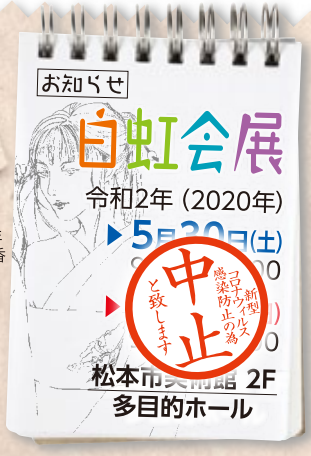
当日はたくさんの方にご来場いただき、不安と緊張感でいっぱいでしたが、本当に楽しくパフォーマンスができました。私たちが伝えたかった思いが伝わっていたら嬉しいです。

ワークショップでは「書き初め体験」も行い、様々な年代の方と一緒に筆を持つ楽しさを体験できたと思います。

今回の活動では、施設担当の方、先生、先輩方に大変お世話になりました。ありがとうございました。

活動で得たことを今後に繋げ、縣陵書道部が良いものになるよう部員一同で意見を出し合って、楽しく活動していきたいと思います。

白虹会ギャラリー



白虹会 3年
由井 彩友香

白虹会
2年
西澤 希美果

白虹会
3年
前澤 慶次郎

白虹会
3年 大橋 翔和

白虹会
2年
望月 陽菜